

各位

株式会社 京葉銀行

## 第14次中期経営計画「ACTION PLAN 2011」策定に関するお知らせ

京葉銀行（頭取 小島 信夫）では、平成21年4月より平成23年3月までの2年間の計画期間とする「第14次中期経営計画」をスタートさせましたので、その概要について下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 名称と期間

第14次中期経営計画「ACTION PLAN 2011」  
～ 実体経済を踏まえた金融サービスの実現 ～  
(計画期間：平成21年4月1日～平成23年3月31日)

#### 2. 目指す銀行像

「お客様に信頼と利便性、高い満足度を提供する魅力のある、活力あふれる銀行」

#### 3. 経営課題と重点施策

##### (1) 『京葉銀行ブランド』の確立

重点施策	お客様の安全性と利便性の更なる追求 ライフサイクルに応じたコンサルティング営業の強化 企業の社会的責任への取組み強化
------	------------------------------------------------------------------

##### (2) 人材力・組織力の強化

重点施策	プロフェッショナルな人材の育成 経営管理態勢の強化 努力や成果を反映した制度、充実感あふれる職場づくり
------	-----------------------------------------------------------

##### (3) 揺るぎない収益基盤の構築

重点施策	地域における存在感の向上 中小企業金融の円滑化等 ITの戦略的活用によるローコスト資金の吸収
------	------------------------------------------------------

#### 4. 特徴

預貸金を中心とした銀行本来の業務を着実に実践することで、中小企業等を中心に千葉県内の資金循環を円滑化し、実体経済を踏まえた金融サービスの実現を通じて地域経済の発展に貢献していきます。

経営環境の変化に機敏に対応し、法・個人のお客様のサポート体制を強化するなど、お客様の安全性と利便性のより一層の向上に取り組みます。

地場産業の育成支援による地域経済への貢献（アグリビジネス支援等）やさらには次世代エネルギーや環境に配慮した施策を通じ、企業の社会的責任への取組みを強化します。

行員一人ひとりの資質の向上を目指し、人材育成を強化します。公的資格の取得にチャレンジする行員をサポートするとともに、資格を取得した行員が資格を活かすことができるような職場づくりに取り組み、さらなるお客様サービス向上を目指します。

お客様の目線に立った金融商品・サービスを適時、適切に提供することでお客様からの支持を獲得（マーケットシェアを拡大）し、地域で存在感のある銀行を目指すとともに、引き続きローコスト資金の吸収に努めるなど、揺るぎない収益基盤の構築に取り組みます。

#### 5. 計数計画

##### (1) 目標とする経営指標

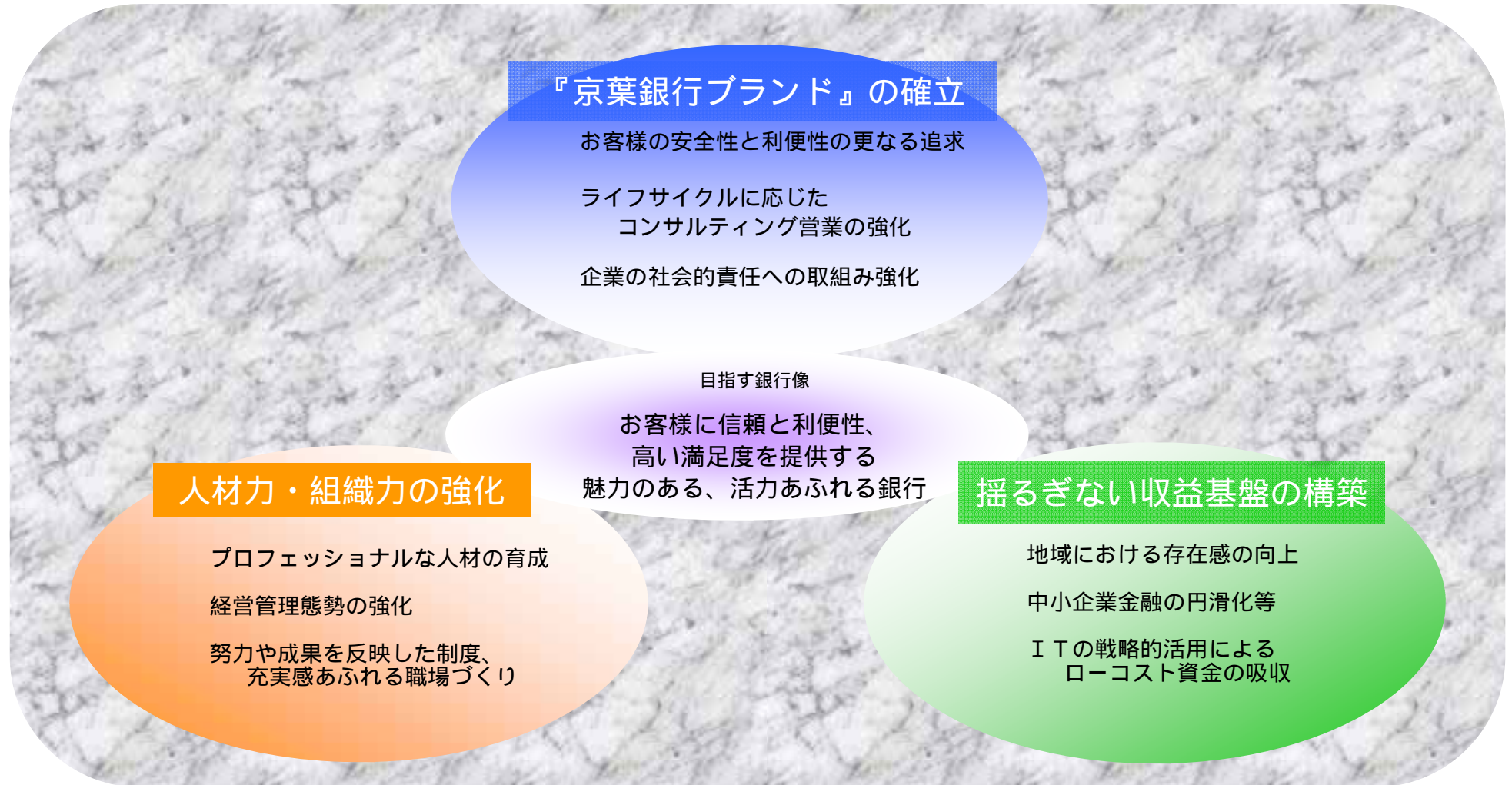
項目	内容	平成23年3月期
コア業務純益	業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 債券5勘定戻	270億円
当期純利益		100億円
OHR	経費（臨時的経費を除く） / コア業務粗利益	57%程度
自己資本Tier 比率	自己資本比率の基本的項目	10%以上
不良債権比率	金融再生法基準による開示債権額 / 総与信	2%台

以 上

# 第14次中期経営計画の体系図

## ACTION PLAN 2011

～ 実体経済を踏まえた金融サービスの実現 ～



### 環境認識

実体経済の悪化

お客様の安全性と利便性の向上に対する要請の高まり

団塊世代の退職、少子高齢化の進展など社会構造の変化

ゆうちょ銀行の業務拡大、地銀再編の流れの加速

規制緩和による銀行の取扱業務の拡大

ベターレギュレーションなど新たな金融行政の枠組み